

第11回子育て・教育部会 主な意見

《施設一体型義務教育学校（小中一貫校）について》

- 施設一体型義務教育学校を前提に、今後も議論していくこととして挙げた意見
 - ・個人的には賛成だが、みんなの懸念や不安を拭えていないので、今後学校・地域・保護者・市が連携できるかどうか、話の進め方が大事
 - ・地域のイメージは悪いかもしれないが、良い所、良い子もたくさんいるので、そういった面を見てもらえるような方向性につくっていく必要がある
 - ・今後子どもたちがこのまちで過ごしやすくなるよう、前向きに考えるべき。悪いこともあると思うが、良い所だけ見て進めていければと思う
 - ・施設一体型義務教育学校の悪いイメージを全て議論に挙げ、みんなで良い部分に変えていきたい
 - ・中学生に責任を持たせれば成長する機会にもなるなど、やりようによっては子ども達がしっかり成長できる学校づくりも可能ではないか
 - ・今の先輩がつくってきてくれた学校を、次の世代に引き継いでいけるように、地域の子どもたちと一緒に作っていかないといけない
 - ・単なる勉強だけでなく、子どもがどのように生きていけるかという教育をしてほしい
 - ・今通っている生徒や働いている教師たちがどういう教育をしたいのか、望んでいるのかということが議論に反映されてほしい
 - ・どこの学校にも負けない特色をつくっていききたい
 - ・みんなが夢を持てるような学校づくりをしたい。
 - ・PTAとして、教育現場は今の体制では行き詰まりを感じているため、今回がきっかけとなって今の状況が動くのではないかという期待がある
- 施設一体型義務教育学校とするのであれば不安・懸念を解消してほしいという意見
 - ・実感はないが、するのであれば、今までにない取り組みもたくさんやってもらいたい
 - ・反対でもなく賛成でもない。するのであれば通学など安全対策をしっかりやってほしい。
⇒市が通学路に立つことは難しいが、市としてどのような安全対策ができるのか、地域と役割分担をしながら不安を取り除いていきたい（市）
 - ・校区の問題は避けて通れない。きちんと考えるべき
 - ・中学生が怖くて学校に行かない、悪影響を我が子に及ぼすのでは、など親としては心配
 - ・施設一体型義務教育学校としたあとも、今見えなかった問題が出てくると思うので、学校をつくるまででなく、学校を作った後のことも考えてもらいたい
 - ・時期尚早。現状でも、通学の見守り隊など地域に頼ってばかりなので、まずは保護者が地域と協力する体制をつくるべき
- その他
 - ・今の児童の意見、将来子どもを通わせる可能性のある世代の意見を取り入れたい

（まとめ）

「地域一丸で子育て・子育てを支援」ということについては、大人と子どもの信頼関係づくりや、大人同士が相談しあえる環境づくり、今ある活動を強化し支えていくためにも小さな取り組みを積み重ねると、それを支える体制、ネットワークづくりが必要という共通認識を持ち、異論はなかった。施設一体型義務教育学校については、「全て賛成」というわけではないが、反対という意見はなかった。「やるのであれば」という意見が最も多く、もし施設一体型義務教育学校とするのであれば協力する、という前向きな意見が多かった。ただし、時期尚早とする意見もあった。